

第 63 回界面科学部会秋季セミナー

化粧品・洗浄料の先端技術とその応用

主 催：日本油化学会 界面科学部会

化粧品・トイレタリー、洗浄料の開発においては、界面に着目した技術開発が日々行われ、ヒット商品につながっています。これら製剤技術、物性評価、構造評価について最先端の研究に取り組んでいる研究者に基礎から応用まで講演していただきます。また、講演者、参加者同士で交流を深め、研究者・技術者ネットワークをひろげてみませんか。

協 賛：現在申請中

期 間：平成 28 年 10 月 31 日 (月) ～ 11 月 1 日 (火)

会 場：IPC 生産性国際交流センター (神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村)

<http://www.js-ipc.gr.jp/>

[交通] JR 逗子駅東口 (①番のりば) もしくは京浜急行新逗子駅南口より
京浜急行バス 逗 16 系統「湘南国際村センター」行
終点「湘南国際村センター前」下車 徒歩 3 分 (所要時間 約 25 分・片道 350 円)
JR 逗子駅よりタクシーの利用で約 13 分

参 加 費：日本油化学会個人正会員 (会員番号をお持ちの方) 30,000 円
日本油化学会法人会員会社勤務者・協賛学協会個人会員 35,000 円
学 生 18,000 円
非 会 員 45,000 円

(参加費には テキスト代、宿泊費、食事代、消費税を含みます。なお、既納会費は返却できませんのでご承知おき下さい。)

申込方法：所要事項 [氏名、勤務先、連絡先(Tel、Fax、e-mail アドレス)、該当する参加費] を記入した E-mail を下記へ送り、参加費をご送金ください。振込手数料はご負担願います。領収書はセミナー当日受付にてお渡しします。宛名は「会社名+氏名」といたしますが、特に御希望がございましたら、お知らせください。参加申込書を受け付けましたら折り返し参加のご案内を E-mail でお送りいたしますのでご確認ください。

問い合わせ先 (申込先)：横浜国立大学大学院環境情報研究院 荒牧賢治
E-mail: aramakik@ynu.ac.jp 電話 & FAX: 045-339-4300

送金先：横浜銀行 和田町支店 普通 1440021

日本油化学会界面科学部会関東支部 (ニホンユカガクカイカイメンカガクブカイカントウシブ)

プログラム (演題と講師)

10月31日 (月)

1. 皮膚表面における摩擦現象に着目した化粧品・洗浄料の使用感のコントロール
山形大学大学院 野々村 美宗 氏
2. 材料表面の細胞接着性制御と再生医療への応用
横浜国立大学大学院 福田 淳二 氏
3. ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸ナトリウムとドデシルジメチルアミノオキサイドの混合ミセル溶液によるトリオレインの自発的乳化
ライオン株式会社 遠藤 知佳 氏

11月1日 (火)

4. 表面力測定を基盤とした潤滑・トライボロジー
東北大学 粕谷 素洋 氏
5. 日焼け止めの効果を水で高める新技術
株式会社資生堂 (未定)
6. 疑似セラミドによる高含水 α ゲル製剤の開発と肌上に形成する疑似細胞間脂質膜
花王株式会社 織田 政紀 氏
7. 製剤成分の物理化学的性質と経皮吸収
株式会社コーセー 坂田 修 氏
8. 油性ゲルの物性制御と化粧品への応用
東京工科大学 柴田 雅史 氏